



第 117 号

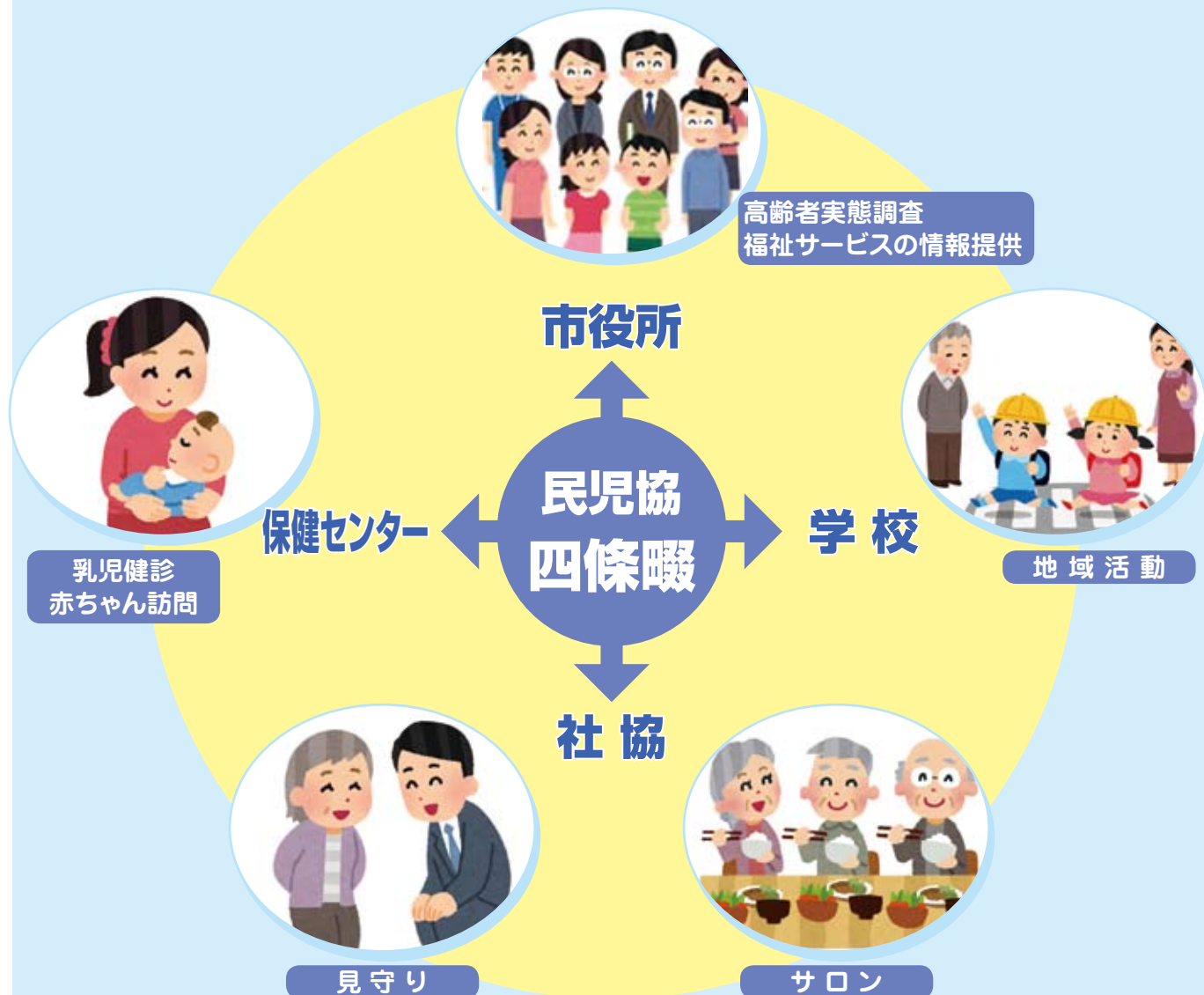
発行 四條畷市民生委員
児童委員協議会

会長 山 崎 讓

編集 民児協なわて広報部

地域の身近な相談相手

民生委員・児童委員、主任児童委員は
こんな活動をしています。



ひとりで悩まず相談してください。
民生委員・児童委員には守秘義務があります。

会長のことば

山崎 讓

桜が開花する季節から今日まで新たな日常に戻らない状況下で広報部員の懸命のご努力により117号を完成されたこと心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、現在世界中で新型コロナウイルス感染症が収束する心配がなく、わが国でも先の見えない状況に戸惑いながら私たちがの力でのように切り抜けられるか、考える必要があると思います。

一方、我々協議会においても事業・活動計画を見直しコロナ禍での新しい協議会の姿を模索しております。

今後は、状況を適確に判断し地域の安心安全を守り、高齢者の方々・子どもたちの見守り・支援をいかにするか、協議会は今できることをしていく必要があると思います。

見えないウイルスに油断せず地域に貢献すべく全力でがんばってまいります。

今しばらく不要不急の外出を避け、マスク着用・手洗い・うがい・消毒・人との距離をとることが命を守ることだと思えます。

新たな日常がどのようなになるか分かりませんが、笑顔で皆様とお話してできる日が戻ることを、民生委員一同願っております。

広報部員の紹介

昨年12月1日付、3年に一度の民生委員・児童委員の一斉改選があり、広報委員10人のうち5人が代わり新体制となりました。

みなさん お元気ですか

たのしく 愛される広報紙を目指します
よみやすく 楽しくやっています



次回からは皆様方から川柳を募集して掲載したいと思います。応募される方、左記まで提出してください。

記

四條畷市
社会福祉協議会

四條畷市北出町
3番1号

072-8781210
民児協四條畷

広報部宛まで
なお掲載の可否は広報部で選考させていただきますのでご了承願います。

川柳をネットからチヨイスしました。

(作者に感謝、ありがとうございます!!)

○忘れ物しないかリストにマスク足す

○そういえば意外と怖いATM

○朝起きて調子いいから医者に行く

○生きがいはい何かと聞かれ「生きること」

○多めよりこまめが大事

○水補給

○多めよりこまめが大事

研 修 報 告

中堅民生委員児童委員研修会



1月24日(金) 大阪社会福祉指導センターで令和元年度の研修会に参加しました。午前

中は関西福祉科学大学社会福祉科教授、遠藤氏による「子ども・子育て支援の実際」の講演でした。出生数より死亡数が上回っているため少子化になっ

広報部 新人研修会

広報活動のスキルアップ研修会

2月12日(水)19日(水)の2日間大阪府社会福祉会館で研修会が開催されました。民生委員・児童委員の活動を知っていただくためには、市民にとって身近な存在



北野清美 役立たせたいと思えました。報告活動に

育しがたい時は、児童委員に相談すると書いてあります。最後に先生から「これから子ども子育て支援活動の充実

定例会 講演

スクールソーシャルワーカーを受けて

7月15日(水)四條畷市教育委員会教育センターの尾上照代氏に講演していただきました。児童、生徒が生活の中で抱えているさまざまな問題の解



決、相談に携わり、数件の事例を挙げお話しがありました。(悩みの中に)家庭内での出来事が子どもの心に大きな

子ども達の安心・安全を見守るために

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「緊急事態宣言」が継続する中、令和2年度の教育活動がスタート。当然、学校は臨時休業中である。

まず初めに取り組んだことは、児童の状況を把握すること。担任がクラスの児童

同時に学校運営や学力保障についての会議を何度も行った。本校の児童に合った、より良い方法を全教職員で話しあ

小学校区 情報交換会

東小と畷小の統合で大切にしていること



令和2年4月1日、東小と畷小は統合しました。両校は、統合前の下準備として、教育内容や指導方針、児童のこ

して、4月を迎え、新たに配置された教職員と共に、さあ、これからと考えていた時に、新型コロナウイルスによる

したが、6月1日に一学期の始業式を行い、再出発いたしました。その際、児童には、次の二点を伝えました。

今年一年を向け、この二点を大切にし、児童・教職員と共に新しい畷小を創ってまいります。

四條畷市立四條畷小学校 校長 羽森清司

おめでとうございます


(敬称略)

大阪府知事表彰

(さつきヶ丘) 森川陽子


厚生労働大臣特別表彰

(中野本町・西中野) 上山 妙
(岡山) 村上 武司
(岡山) 森 義雄
(岡山) 諏訪 邦彦




この度民生委員を仰せつかり、大変光栄です。同様に責任の重さを改めて感じている次第です。少しでも皆様のお役に立てますよう務めてまいります。ご指導宜しくお願いいたします。

香山清美(畑中)




「高齢者社会の中で」といわれる年齢になってきました。まわりを見わたしても高齢者ばかりめだつような気ができません。楽しく生活できる地域社会をめざす仲間の一人として活動していきたいと考えています。

山本 明(府営清滝)



民生委員をお受けいただきありがとうございます。が、ご指導をいただきながら、努めてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

大石和子(塚米)



2015年から5年間の市立第一サビーズ、その後特養四條畷荘に勤務しています。仕事と両立できるか心配ですが、前任者に教えて頂き、努力してまいります。

渡邊マユミ(楠公)

お知らせ

「高齢者実態調査」の延期について

3年に一度の高齢者実態調査が予定されていましたが、今回はコロナウイルス感染症の拡大防止のため延期となりました。

●年賀状のイラスト募集

民生委員が一人暮らし高齢者の方々に送る年賀状のイラストを市内小学生の皆様から募集します。テーマは来年の干支「うし」です。

詳しくは、9月号市広報またはホームページを参照ください。

▲問い合わせ先▼

四條畷市役所 福祉政策課
TEL: 072-877-2121(代)

四條畷社会福祉協議会
TEL: 072-878-1210

『外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業 ～コロナに負けるな! 安心見守り事業～』

各地区福祉委員会による見守り活動実績報告

実施期間：令和2年4月16日～令和2年5月31日

活動者数		191
活動実績	見守り対象延べ人数	3,481
	電話延べ人数	1,117
	その他見守り延べ回数	2,008
主な活動	電話	92
	ポスティング	117
	その他	84

○考えられる課題

外出自粛により「生きづらさ」を感じ、当たり前に出来ていた事が当たり前に出来なくなっています。

○活動からの気づき

電話での見守り活動は直接確認ではないので難しく、安否確認システムの必要性を感じています。

編集後記

ご愛読の皆さん、大変お待たせしました。

「民児協 なわて」第117号5月の発行は、新型コロナウイルスにより断念して今回の9月号発行となりました。

2月頃は誰もが、国内でも4月7日「緊急事態宣言」が出される事態になるとは思っていませんでした。ないでしょうか。

いつか先人からこんなことを聞いたことが有ります。

「元号が変更(改元)された時は、天変地異が起こる」と。コロナ感染のことが天変地異ならばこれ以上の変り事も無く、早期終息して元の生活に戻る日々が早く来るように願って止みません。

ですが、考えておくべき重要なことがあります。それは何よりも複合災害です。

今後第2波、第3波が必ず起こるとも言われているコロナ感染の中で、台風や地震が無いことを願いますが、こればかりは誰も予測できないのが現実です。

私の場合、万一複合的に災害が発生したら、直ぐ避難所へ行くには、リスクが高いのでためらいがあります。自宅でも過ごせるように考える場合は、例年以上の備えが必要です。

今からでも遅くはないので、しっかりと準備をしておき、結果的に準備が無駄であってほしいと願うばかりです。